

http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~fms-O1/kankyo/kankyo_index.html

1. 環境理念・方針

基本理念

国立大学法人 山口大学は、「発見し・はぐくみ・かたちにする知の広場」の理念のもと、地域共生型キャンパスの創生と持続的発展可能な社会形成への貢献に努めるとともに、教職員、学生が自らの意欲を高め、その持てる能力を十二分に発揮して、地域環境の保全と環境負荷の低減をめざした取組み・活動を行います。

基本方針

- (1) 事業活動における環境負荷の低減 (温室効果ガス排出抑制、グリーン購入、廃棄物抑制等)
- (2) 環境貢献技術の創出 (環境保全のための科学技術の研究、開発の推進)
- (3) 環境モラルの醸成 (環境基礎、環境モラル醸成のための教育カリキュラムの充実)
- (4) 地域との協調・コミュニケーション (地域住民との触れ合い、職員・学生の自主活動による社会、環境貢献)
- (5) 法規制の遵守とマネジメントシステムの整備・充実 (環境配慮の取り組みのための管理体制の整備)

2006年8月1日



国立大学法人山口大学
学長 丸本 卓哉

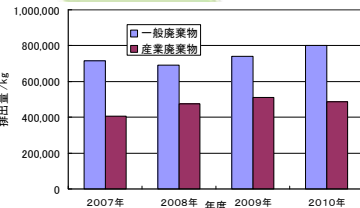
2. 環境目標と具体的な取組

基本方針	分類	具体的な取組	中期目標	2010年度目標	自己評価
事業活動における環境負荷の低減	温室効果ガス排出抑制	省エネ法に基づき省エネ活動によりエネルギー削減の励行	2008～2012年度の5年間で、基準年の2007年エネルギー使用量の5%以上削減	エネルギー消費量削減率で前年度比1%以上の削減	×
	グリーン購入の推進	排出される温室効果ガスの排出量を削減する。	2008～2012年度の5年間で、基準年の2007年レベルと比較して面積原単位で5%以上削減	温室効果ガス排出面積原単位で前年度比1%以上の削減	×
	廃棄物の抑制	廃棄物の削減に努める	地球環境にやさしい研究開発の推進	廃棄物の削減とリサイクルの推進	△
	環境教育の推進	環境教育の推進	環境に関する研究の推進	環境に関する研究の推進	○
環境モラルの醸成	学生への環境教育の推進	学生に対する環境教育の徹底	実践排水の適正処理の徹底、教育・研究等を通じて地球環境の負荷低減に努める	実践排水の適正処理の徹底、教育・研究等を通じて地球環境の負荷低減に努める	○
	職員への環境教育の実施	職員に対する環境教育の徹底	職員への省エネ意識の啓発	職員への省エネ意識の啓発	○
地域との協調・コミュニケーション	地域住民との触れ合い	各種媒体を通じて環境情報の発信	関係者に対する環境情報の提供	山口大学Webにおける環境情報の発信及び公開講座やセミナー開催の拡充	○
	職員・学生の自主活動による社会、環境貢献	環境啓発	地域貢献活動の推進	地域貢献活動の推進	○
法規制の遵守	化学物質の管理水質汚濁防止	化学薬品等の使用量の軽減	グリーンケミストリーの推進	無状な薬品等の使用量の削減	○
	化学物質の管理水質汚濁防止	化学物質教育への教育・訓練	排水基準の遵守	学生及び職員への教育	○
	化学物質及び排水・廃渣の適正管理	化学物質の適正管理の徹底	化学物質の適正管理の徹底	排水・廃品の適正管理	○
マネジメントシステムの整備・充実	環境マネジメントシステム構築の推進	環境マネジメントシステムの定着・充実	環境マネジメントシステムの定着	環境マネジメントシステムの定着	○

3. 環境配慮活動の状況

◆廃棄物排出量の削減

年度別	2010年度	
	一般廃棄物 年間排出数量 (kg)	産業廃棄物 年間排出数量 (kg)
吉田地区	155,680	77,377
小串地区	547,610	350,142
常盤地区	97,695	57,302
合計	800,985	484,821



◆温室効果ガス排出量の削減と建物等の施設整備



5. 環境配慮等の取組状況

◆附属小学校

～ホテルがすすめる環境を守るために、今できること～

◆環境セミナーへの参加



熱心に説明を聞く生徒達 一の坂川に舞うホテル



横浜市立大学：10月23、24日参加

4. 環境管理体制

国立大学法人山口大学環境マネジメント体制に関する要項

(2006年1月16日制定) 制定

- (1) 環境関連法規制の収集、評価
- (2) 環境影響調査、評価の概要
- (3) 環境配慮推進員の活動状況
- (4) 内部監査の結果



6. 教育・研究・地域等の環境配慮およびトピックス

トピックス

◆活断層をみたことありますか？

山口県内には、複数の活断層が集まってできた3つの大きな活断層帯(系)：岩国断層帯、大原湖断層系、菊川断層帯があります。このうち、大原湖断層系は山口市徳地から山口盆地をへて宇部市にかけて北東-南西方向に走る、県内最大の活断層群です。



木戸山西方断層保存施設の地図

施設環境部施設企画課

TEL 083-933-5125

FAX 083-933-5141

◆間伐材原料の「割り箸」使用と回収の取組



回収、梱包される割り箸

専用回収BOX



7. 遵法管理の状況と情報交換

◆大気汚染防止法への対応

地区	ばい煙発生施設	計量の対象	2010年度
吉田地区	ボイラー 3基 (温水)	SO ₂ (m ³ N/h)	0.00
		NO _x (ppm)	60
小串地区	ボイラー 3基 (蒸気)	煤塵 (g/m ³ N)	0.000
		SO ₂ (m ³ N/h)	1.1
	NO _x (ppm)	98	
	煤塵 (g/m ³ N)	0.002	
	発電機 2基	SO ₂ (m ³ N/h)	0.026
	NO _x (ppm)	805	
	煤塵 (g/m ³ N)	0.033	

◆山口大学公開講座



「今日から始めるグリーンライフ講座」